
狂愛それは思想相愛

カヲル君を愛してる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狂愛それは思想相愛

【Nコード】

N0780BA

【作者名】

カヲル君を愛してる

【あらすじ】

『あたしは赤也のことがだあああいきすき』

「俺は魅亜の事がだああああいきすき」

『「歪んでもいいそれがあたし／俺達の愛し方」』

狂愛です赤也はキャラ崩壊してます

中編かな？

なるべく精神年齢が20超えてる方がいいかも

き (小学2年時) (前書き)

ああ狂ってるな〜うちww

き (小学2年時)

あたしはあかやがすきすきすきすきすきすきすきすきすきすきすき
すきすきすきすきすきすきすきすきすきすきすきすき
すきすきすきすきすきすきすきすきすきすきすきすきすき
すきすきすきすきすきすきすきすきすきすきすきすき

でもまわりはおかしいという
おれはあたしのかんがえが？
でもねあかやもねわたしがすきなんだよ。
なんでわかるのかって？
だっていまも・・・ね？

『あかやだあああいき』

「おれもだあああいき」

ほらね？

side out

たとえだれかがじゃまをしようともあたし／おれもじぶんのからだ
がきずつこうともじぶんできずつけようとも

ぜったいにはなさないしはなしてなんかあげない

き (小学2年時) (後書き)

ひらがなあああゝゝゝ
よみにくかったらすみません

よ
(小学6年時)

なんでなんでなんでなんでなんでなんでなんで
なんでなんでなんでなんでなんでなんでなんで
なんでなんでなんでなんでなんでなんでなんで
なんでなんでなんでなんでなんでなんでなんで
なんでなんでなんでなんでなんでなんでなんで
なんでなんでなんでなんでなんでなんでなんで
なんでなんでなんでなんでなんでなんでなんで
なんでなんでなんでなんでなんでなんでなんで
なんでなんでなんでなんでなんでなんでなんで
なんでなんでなんでなんでなんでなんでなんで

あんだ等には分からない

分かるはずもないわかってほしくもない

あたしは赤也が好きなのに
好きで好きでしょうがないのに
なんで??

「赤也の未来のためにも、もう会わないで」

「お願いだ」

「ただでさえ手が付けられなくなってるのに」

「やっぱし思考回路が狂ってる子と一緒に居させたのが間違いだったんだわ」

なんであんた等にそんなこと言われなくちゃいけない？

ああこれであたしは

クルッテシマウ

彼もあたしもきつと

クルッテイクンダ

『赤也』

ああ今笑えてないな
声が震える

いやだいやだいやだいやだいやだ

別れたくない別れたくない別れたくない別れたくない別れたくない
別れたくない

「ん？なんだ魅亜」

『つああ・・・あのねあたし・・・赤也和居れなくなっちゃ
ったよっ！！グスッ』

「なんだよそれ！！！！！！！！」

やっぱり怒るよね

『あのねっ親と一緒に海外に行く事になったんだよお赤也と離れたくない離れたくないよおゝゝゝ（泣）』

「俺もいやだ一緒に立海行くなって約束したじゃんかよっ」

『だからねあたしどんな方法を使っても』

高校は立海に行くから待ってて

約束だから』

あたしあ指切りと言った

「約束だからな」

そう言っ指切りをする

【指切りげんまん嘘ついたらコォーロス】

【指切った】

あたしは自傷行動をしよう

俺も自傷行動をする

それあで偽りの仮面をかぶり続けて

赤也のモトに戻る

魅亜を待つ

小さく誓った狂った約束

よ
(小学6年時) (後書き)

指切りげんまんの歌が怖いな〜
w
w

う（中学3年）

赤也サイド

あああれから随分経った。

あの後から俺は、『元気のいい少年』の仮面を被り続け……
テニス部に入った。

青学・氷帝・四天王寺……などの強豪校と戦った1年前、

1年経つのは早かった。

先輩達は高校に行った。

そして今日俺は待ちに待った、卒業の日。

これでもう『仮面』を被らなくていい。

有りのままを受け入れてくれる「魅亜」がくる

それだけで嬉しい

テニスはどうする？

続けるか

続けないか

自問自答する。

ああ．．．．やめよう

俺には魅亜だけで十分なんだ

仁王先輩にはバレてるかもしれない

ああそうだ．．．．．明日呼ばれてるんだっけ？
先輩たちに

パーティーでも開くのか？

まあどうでもいい

明日になったらわかる事だ。

サイドアウト

幸村サイド

今日で赤也が中学を卒業する

それを知っている俺達は今部室に集まっていた

「仁王、君は赤也に違和感を覚えたことはあるかい？」

「正直言っていつも違和感を感じるぜよ
いつも無理して笑ってるように見えるダニ」

やっぱり彼も違和感を感じていたのか

「？？違和感だと？それはどういうことだ？幸村」

「真田……俺は……たまに思うんだ……本当赤
也はここにはいないんだって、いつも感じていたんだよ、心の距離
をね？」

「そうですか……正直私もどこか違和感を覚えていましたが・
……仁王君と幸村君も感じていたとなると本当なんでしょうね」

柳生はメガネをいじりながら言う

「俺も思うぞ赤也が何か隠している確率99%だからな」

珍しく開眼しながら言う蓮二

「俺は知らねえぞい。赤也は明るいじゃんかよい？」

ホントに丸井は鈍感だな

「俺聞いたことがある」

えっ??と俺は思わず声を漏らした

「ジャッカル何をだい？」

「いやな・・・クラスの女子が前行ってたんだよ・・・
『本当の赤也君は何処にいるんだろう?』って

それに俺聞いちまったんだ。

『魅亜いつになったらお前に会える?』って独り言をな・・・
」

ジャッカルは重い口を開けて言った

「まあとにかく明日話を聞こう。それで真実が分かるはずだよ?」

と俺が言って今日は別れた。

この判断があっていると願って・・・

サイドアウト

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0780ba/>

狂愛それは思想相愛

2012年1月8日22時49分発行